塾長杯ソフトボール大会　全塾本選　大会要領

●大会に関する連絡事項は、申込フォームに入力された携帯電話とパソコンのメールアドレスへのメール送信、および塾生 HP（https://www.students.keio.ac.jp/com/life/extracurricular/event.html）への掲載により行われる。日程変更等重要な連絡を行うので、よく確認すること。

●当日人数不足で棄権することがないよう、参加者の予定を確認した上で申し込むこと。

＜開催情報＞

日時　　：2026 年 11/28(土)、29(日)　※予備日 12/5(土)、6(日)

場所　　：日吉キャンパス陸上競技場

※10 時頃～16 時半頃までに試合を組み､1 チームにつき 1 日約 1,2 試合行う(最大 3 時間程度)｡基本は 11/28(土)に初戦を行い、勝ち進んだ場合は最終日まで出場することになる。雷雨や大雨の場合は当日の朝 8 時 30 分時点の状況で開催を判断する→メールで代表者に連絡予定（小雨決行)。

参加資格：学部・大学院生（研究会の先生も参加可）

試合概要：　試合は 7 イニングとする。ただし，1 時間 10 分を経過した場合は新しいイニングに入らない。

・雨天等中断による延長は無い。時間内であれば 9 回まで延長戦を行なう。

・勝敗が決しない場合は出場選手 9 名によるジャンケンで決定する。

募集要項

・募集は先着 20 チームとする。開催 1 週間前までに 6 チームが集まらない場合は中止とする（6 チームでの開催となった場合は、同チームと 2 試合行い、合計点での勝敗決定を行う予定）。

・審判学生も例年通り募集する。審判や設営は、参加チームにも協力を要請する可能性あり。

注意事項：●原則、他チームと重複して出場することはできない。

●エントリーフォームに記入された選手のみ出場可能(選手追加も可能)。追加した場合、その選手の学籍情報を hiyoshi_gakusei@info.keio.ac.jp へ送信すること。

●グローブ・キャッチャーマスクは大学から借用可能だが，数が十分ではない為、可能な限り各自で用意すること。

●車両の入構は不可。

●会場内は食事禁止。水分補給は、芝生以外の場所で行うこと。

●会場へは運動靴のみ入場可能。ヒール、サンダルなどは不可。

●先攻後攻は、試合開始 5 分前に、チーム代表者同士のジャンケンで決定する。

●試合を円滑に進めるため，試合開始 30 分前には集合すること。試合開始予定時刻において 9 名揃っていない場合は失格となる。

●参加者は対戦相手や審判に配慮し、野次等を飛ばさずスポーツマンシップに則りプレーすること。

☆カラーコーン外へ打球がノーバウンドで出た場合は本塁打、打球に野手が触らず、バウンドで出た場合は三塁打、野手が触ってバウンドした場合は二塁打とする。反対側コートの守備と鉢合わせになり、ボールが追えない場合は二塁打とする。ランニングホームランも認める。

☆外野から内野へ返球し、内野手が捕球した時点で、進塁中の次塁まで進塁できる。ただし、次塁への進塁を保証しておらず、進塁を阻止する刺殺、挟殺等のプレーは禁止していない。

☆投球前のリード、投手の暴投、捕手の後逸、盗塁(ディレードスチール等の変則盗塁も含む)は禁止する。ただし、投球後のリードによる離塁走者への牽制球は禁止せず、牽制球が悪送球の場合、次塁まで進塁しても良い。

☆陸上競技場で開催される場合は、芝生の内側をインプレーゾーン、外側をボールデッドゾーンとする。ボールデッドゾーンに出たら、原則 1 つの進塁権を与える。ただし、状況により審判の判断に従うこと。

☆危険防止の為、各塁においてコリジョンルールを厳格に適用する。

☆全イニング出場の場合に女子選手及び研究会の先生 1 人につき，ハンディとして 1 点を加える（最大 3 点まで)。但し、投手のみ、バッターのみの場合は適用しない。
☆イニング間の投球練習は初回のみ 5 球で、後は 3 球。
☆女子が投手の場合は、プレートの 91cm 前から投げる。
☆シートノックは 20 分前に集合し、両チーム 7 分間ずつ。
☆バットは大学が用意したもののみ使用可とする。但し、相手チームが認めた場合を除く。
☆危険防止のため，野球用やサッカー用などのスパイク（金具・ポイント式ともに）は使用禁止。
☆打者は必ずヘルメットを着用すること。捕手は必ずマスクを着用すること。
☆盗塁、投手の暴投又は捕手後逸による進塁、リードは不可とする。
☆エラー等によりボールが会場外へ大きく逸れた場合、原則的に各走者の進塁は 1 つまでとする。
ただし、状況によっては主審の判断に従うこと。
☆会場の周囲は陸上競技トラックで練習が行われている場合がある。危険防止のため、トラックまで無理に打球を追いかけないこと。
☆ファウルボールは攻撃側チームが拾いに行くこと。
☆出塁中も必ずヘルメットを着用すること。
☆3 イニング終了時点で 10 点差以上ある場合は、負けているチームに続行の意思確認を行ったうえで、コールド負けを認める。
☆広報のため、試合の様子を撮影した写真を義塾のホームページや SNS に掲載する場合がある。
☆同時により多くのメンバーの出場を可能にするため、DH 制（Designated Hitter）を任意導入する。
条件は①DH 採用時は審判に申告（&相手チームとの合意)、②女子や先生を DH にした場合のハンデ点はなし（守備から外れた場合、ハンデ点は無効)、③DH 導入時は投手を含めた 10 人打ち、
④投手、野手、DH 間の入れ替えは自由（打順変更は不可）
☆熱中症などの予防のため、こまめに水分を補給し休憩すること。
☆ゴミは必ず各自で持ち帰ること。

以上